

本の森通信

2024年6月

先生方から本の紹介を聞いた感想に目を通していくと、本から、いろんなことを感じ取り、自分で考え、深めている一人一人の姿が目に見えてきました。紹介された本は図書館で展示をしています。読んでみてくださいね。

6月 全校一斉・先生による本の紹介 本の紹介を聞いた生徒の感想

「泣いた赤おに」浜田廣介・作 梶山俊夫・絵(偕成社)

青おには、赤おにのために犠牲になってくれたのは、とてもすばらしい。でも、そこから旅に出ず、赤おにとまた協力して、次は青おにも人間と仲を深めていけば良いのと思った。

「心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣」長谷部 誠(幻冬舎)

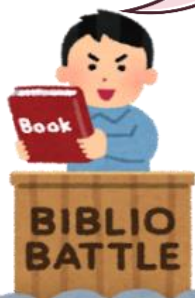
12年間日本代表のキャプテンを務めて、ワールドカップにも出場したすごい選手でも「これ!」と言える武器がない。だからこそ、自分に厳しく接して高めたり、人とのかわりを大切にしたりしているのは、すごいことだと思いました、自分も今後のことを考えて、得られるものが多い道に進んでいきたいです。

「青い光が見えたから～16歳のフィンランド留学記」高橋絵里香(講談社)

人生を豊かにするには、怖いかもしいけど挑戦は大事だなと思った。挑戦することで後に自信につながるので、些細なことでも挑戦してみようかなと思った。他の国の文化を知れたり、外国人と交流できる留学が楽しそうだなと思った。

松任中学校生徒会&PTA<第23回>ビブリオバトル

今回のバトル（本の紹介者）は、
保護者 2 名、生徒会役員 2 名、
図書委員 1 名でした。



選ばれたチャンプ本は、
「赤ずきんの森の少女たち」
白鷺あおい(東京創元社)
でした。

保護者の感想：普段本を読まない
のですが、本を読んでみようかな
という気持ちにさせてもらいま
した。こんな素晴らしいビブリオ
バトルを多くの生徒が聞ければ
いいなと思いました。

たくさんの参観
ありがとうございました。

次回は7月に図書委員主催ビブリオバトルがあります